

# 桐鈴凜々

第90号  
平成25年7月15日発行  
発行責任者  
社会福祉法人 桐鈴会  
理事長 黒岩秩子  
南魚沼市浦佐 5142-1  
電話 025-780-4118  
FAX 025-777-3731  
e-mail  
suzukake@rose.ocn.ne.jp  
http://www17.ocn.ne.jp  
/~tourei/

## 桐鈴会の理念

・終のすみかを目指す  
・「迷惑をかけ合える関係」を目指す  
・高齢者、しようがいしや、子どもたちが  
安心して住める地域を創ろう



## とんとんすすむ？

工房とんとん管理者 星野淳子



開所式から周囲の季節を感じる事も無いまま、慌ただしく丸3か月が過ぎました。

内覧会から始まり、試食会・竣工式・開所式と続きました。そして工房とんとん開設記念として「あぶあぶあの奇跡」の上映会。現在は田中瑞木さんの個展が行われ、28日には、瑞木さんグループのダンスパフォーマンスと続きます。これだけの宣伝をもってしても、利用者さんが定員に満たないのはどうしたわけでしょうか？地域の他の就労継続事業所と趣を変えた事業内容ですし、生活介護も南魚沼

市では初の特殊浴槽を備えて、利用者さんをお待ちしておりますが・・・？支援センターも総力を挙げて利用に結び付けられる様に、力を注いでくださっています。今後も全身全霊で努力を続けていきたいと考えています。7月現在の利用者は、生活介護4人(定員6人)就労系6人(定員14人)です。話は変わりますが、現場は当初の混乱期を無事に乗り越え、少しずつ落ち着き始めています。それぞれの利用者さんの障がいや個性・能力に応じた仕事を担当して頂くようになりました。



親子連れで賑わう「すずカフェable」。キッズコーナーも好評です。

先日は旧鈴懸職員の高野様のご厚意により、城内のバラ園で、初の、「パン」「手作り雑貨」袋詰めを作業にしている乾燥こんにやく「ふるんぷあん」を販売致しました。『恐る恐る』の参加でしたが、全て完売し、職員・メンバーさん共にとっても達成感のある表情で戻ってきました。すずカフェableは、パンの評判が良く、時に売れ残ること

があっても、いろいろな事業所に「行商」に行くところでも大変喜んでくださって、毎日完売という状況です。レストランも大勢来られて悲鳴を上げるほどの日もありますが、閑古鳥が鳴いている日もあります。井口龍哉さん、井口陽さんが、レジやウェイトレスとしてすっかりなじんでいる感じです。

グループホームひまわりから通ってきている安部利一さんは朝来るなり外の掃除、洗濯、パンを工房からレストランに運ぶなど大活躍です。

井口龍哉さんは、右片麻痺で、左手だけを使っていますが、ズボンなどの裾上げは実に見事なできばえです。ミシンが壊れたら、片手で直してしまったりします。さすが元大工さんだけであると感心します。裾上げは1本

500円。みなさんもどうぞ。まだまだ、先行きは険しいですが、関係機関の皆様や沢山のボランティアの皆様、そしてメンバーさんを取り巻くご家族の皆様のご協力があれば、必ずや輝く未来があることを信じて、職員一丸となって荒波を乗り越えていきたいと思えます。今後もしもご支援のほどをお願いいたします。

7月後半より  
**夏メニュー登場!!**

暑い夏をすずカフェで涼みませんか?  
「かき氷」と「クリームあんみつ」始めました!!

かき氷 300円から  
イチゴ、抹茶あずき(米粉だんご入り) など

米粉だんご入り  
クリームあんみつ  
緑茶セット 400円

カフェスペース親切できます!

緑あふれる公園近くのカフェで気軽にお茶会や打ち合わせはいかがでしょう?詳細は下記までお問い合わせください!

**すずカフェ able**  
工房とんとん すすかふえ 200号  
南瀬市東区 日43-1  
TEL: 025-780-4150 FAX: 025-780-4151

「すずカフェ able」から、夏の新メニューが届きました!

**工房とんとん開設記念行事**

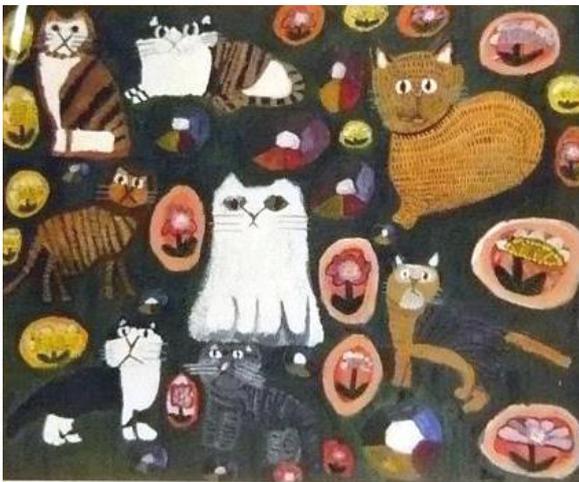
田中瑞木展覧会の行方

桐鈴会理事長 黒岩秩子

6月15日から始まった自閉症の画家田中瑞木展覧会。前日30点の作品が画家とそのご両親とともに到着しました。工房

とんとんと夢草堂に飾り付けをしてから、とんとんの食堂で、家庭的な懇親会をしました。施設長星野淳子が手作りでたくさん料理を用意してくれ、舌づつみをうちながら参加者15名が打ち解けて話が弾みました。瑞木さんのご両親の話が参加者の胸を打ちました。お母さんの愛子さんは、瑞木さんのお父さんと離婚の後、阿部公輝さんと出会って結婚。「公輝さん」と出会って、私はいろいろなことを教わりました。あなたは臨床心理を勉強したいのでは?と行って『ここに行って勉強すれば』と探してきてくれたので、受験勉強をして52歳で日本大学大学院心理学専攻臨床心理学コースに入りました。そして今では、田中瑞木美術館(調布市)の学芸員をしています。お父さんの公輝さんは当時電通大の理系の教授だったのですが、「この人たちと出会うまでの僕は、論文がかけなかったのです。でも、出会ってからは、学生に向かつて『そのことはわからない』と言えるようになったし、更には『教えてほしい』とまで言える

ようになった。そうすると学生たちがどんどん話してくれる、会話が生まれる、その結果僕も論文が書けるようになったのです。40歳になる瑞木さんはご両親から離れて、グループホームで生活し、昼間は老人ホームの清掃業務に通っています。土日家に帰ってきて製作活動をするので、最近では1年1〜2本の製作となっているそうです。すずカフェ able の中に瑞木さんの重厚な油絵が掲げられると、まるで場所が違ってしまっただかのような空間が出現しました。6月15日から展覧会には、阿部愛子さんが長岡の出身ということもあって、長岡など、遠くからの観覧者も結構来ら



**田中瑞木展** 工房とんとん オープン記念

2013年6月15日(土)~7月28日(日)  
9時~17時 月曜休 最終日は16時まで 入場無料  
工房とんとん 新潟県南魚沼市湊 5143-1 TEL: 025-780-4150

主催 社会福祉法人桐鈴会  
協力 NPO 法人海から海へ 田中瑞木美術館

関連イベント  
**ダンスパフォーマンス 田中瑞木の世界**  
—いつもの世界がちよっと違って見えるはず—  
前納依里子演出  
7月28日(日) 午後2時開演(開場1時30分) 夢草堂  
入場無料 定員70名 先着順 受付電話番号 025-780-4150

れていました。28日から近くの池田記念美術館で始まった「新潟の美術家たち」展の出品者赤穂恵美子さんが見に来られ、色遣いの見事さにとっても感激していかれました。28日(日)最終日には、前納依里子演出によるダンスパフォーマンス「田中瑞木の世界」が行われます。会場は70人で締め切ることになっていますが、すでに10人を超える申し込みがあります。お早目に申し込んでください。さいね。(025-780-4150)

## 「あぶあぶあの奇跡」

上映会を終えて

桐鈴会監事 鈴木智子



工房とんとの設立記念として「あぶあぶあの奇跡」がさわらびで上映されました。映画を見て、「工房とんとの設立記念にとでもふさわしい映画だったな」と思いました。

内容は養護学校を卒業した若者たちが、それぞれ就労しながら楽器を練習し、「あぶあぶあ」という楽団を結成し、各地でコンサートを行い、人々に感動を与え、遂にはアメリカまで渡って堂々とパフォーマンスし、会場を熱狂させるドキュメンタリーです。

知的障がい、ダウン症、自閉症など彼らが持つ特性は様々で、一曲習得するために一年かかるそうです。しかもメンバーの習得度に差があり、できない仲間ができるまでだれも文句を言わず、じっと待っているそうです。うまくいかずに困っている仲間を励ますようにそっと触れる手、我が子に先立たれ悲しむ

父の手をそっと包む手、緊張してうまく演奏できないメンバーを落ち着かせるよう背中を撫でる手、様々な場面で、暖かな手の力を感じました。また支援者の中心であるひがしのようこさんや親たちの表情が時を経て、穏やかに美しくなっていくのを感じました。サポーターの皆さんの表情もとてもすてきでした。支援しているつもりが、実は障がい者と呼ばれる彼らから、大きな力を与えてもらっていることを、多くの皆さんもお気づきになったと思います。

この映画のチケットを売っている時に「障がい者の映画は見ていて辛くなるから」と言っていた知り合いが映画を見終わった後に「良かったわ！来て良かった！」と目を潤ませていました。私も映画が始まった時は、障がいを持つ彼らの、表情、動き、話し方に違和感を覚えませんでした。しかし二時間ずーと見てみると、香代さん可愛い、一男さんすごい、敏之さんカッコいいと、彼らの動きも話し方も気にならなくなりました。遠くでチラッとみていると切なくなるけ

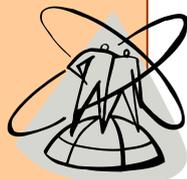
れど、真正面から近くで見ると、本当の姿がわかるのかもしれない。工房とんにも様々な特性を持った仲間がいます。あぶあぶあのみんなに劣らず、一生懸命頑張っていますのでどうか皆さん会いに来て下さい。

### イチから学ぶ

#### 放射能のこと

#### 夢草堂運営委員

榎本 宗俊



6月1日、夢草堂にて村上茂樹（十日町市在住・農学博士）先生による講演会が開催されました。文字通りベクレルやシーベルトの説明から始まり、現地での状況は当然として、事故直後には南魚沼市が県内では最大の空間線量をカウントした事実も報告されました。（編集部注・南魚沼市の事故直後の放射線量は0.57マイクログシーベルトと発表があった。その後「計器が壊れていて多くなった」と発表されたが、実際の数値は0.527マイクログシーベルトだった）事故後2年余りの経過の中

で、政府・マスコミ・東電の「報告」のズサンさは勿論のこととして、私たち自身が事故を風化させている現実を改めて確認させられました。「安心したい」と思っていることが「安全である」とことと混同されてしまっている私たちが問われているのだと思います。それは講演後に地元市民団体による南魚地内の汚染状況の報告があり、改めて事態の重大さを思いました。

私は持病のうつ病を抱えながら萌気会の往還堂の僧侶をさせていただけで、少しの現金を必要とすることから、実は今年の7月から1ヶ月間、現地福島での除染業務に就く予定でした。結局、計画はなくなり現地に行くこともなくなりましたが、現地での作業に関心があり、マスコミの情報をチェックしておりました。事態の深刻さは、政策や東電のズサンさだけではなく、マスコミの報道でさえ矛盾している現実です。このことは、改めて、市民が黙りこんではならないことだと思いつながら講演会に聞き入った次第です。



桐の花夜勤介護員

関 勝造



した。入居されてきたときは元気で、どこが認知症かという感じでした。

平成 21年 12月に入居され、5年間の入居生活で

今、生きておられれば富士山が世界遺産になったことをどんなに喜んだことでしょう。ミヤさんも富士登山をしたと言っておられましたから。  
私が時々夜勤明けに、桐の花に置いてある黒岩先生の三味線をお借りして、30分ほど民謡や

演歌を弾くと、部屋から出てきて皆さんと一緒に歌ったり聞いたりしてくれていました。

ミヤさんはパーキンソン症候群でした。今年の5月頃から少しずつ食事が進まなくなり、5月21日が食事をされた最後の日になったことをよく覚えています。点滴も自分から拒否され、6月3日の夕方6時に永眠されました。大正11年11月3日生まれの91歳でした。心よりご冥福をお祈りいたします。



合掌。

講演会  
「バトンをつなぐ」に参加して

桐鈴会理事

池田豊美

6月23日(日)に赤松良子さんと岩田喜美枝さんを迎えて、夢草堂運営委員会主催の講演会を行いました。

私にとっては、お二人ともお名前も存じ上げず、元文部大臣と資生堂の副社長をなさっていたことを聞き、なんとも遠い世

界の凄い人がおいでになると思い、早速にインターネットで調べ、凄い人だと再確認した次第でした。

前日には懇親会もあり、緊張しながら参加したのですが、目の前に現れたお二人は思いのほか小柄で可愛らしい女性でした。懇親会では、お二人のお人柄に触れ、翌日の講演会が待ち遠しく思える時間を過ごしました。

23日は、約50人の参加者を迎え、赤松さんの凛とした姿勢と時に厳しく時に笑いを混ぜたお話の中にも激しい時代の波を乗り越えてこられた貫禄を感じ、赤松さんからバトンを受けた岩田さんのお話には、1人の女として今の自分を考えさせられ、これからの豊かに生きるための行動や考え方が沢山散りばめられており、本当にあつという間の2時間半でした。

それは私だけでなく、参加してくださった方の感想に、岩田さんの経験や考えにとても共感できるというのがあったことからもお分かりいただけるかと思えます。

赤松さんも岩田さんも今回

は、純粹に遊びに来るつもりが、黒岩理事長の提案により、多くのみなさんと触れ合っていただけ、その一人として本当に感謝の気持ちでいっぱいです。  
そして夢草堂では、余韻に浸る間もなく次の企画が進んでおります。

皆様にお知らせする日を楽しみにお待ちしております。

赤松良子さんが、黒岩秩子著「育てあい家族」を読んで、「7匹の仔豚」をどんなところで育てたのを見てみたい」とおっしゃったことから今回のイベントが実現しました。(黒岩秩子)

### 苦情受付処理状況

- 発生場所・・・ケアハウス 鈴懸
- 受付年月日・平成24年4月6日
- 苦情内容・・・別の入居者から中傷されたことに対する苦情  
(本人から)
- 解決方法・・・苦情処理委員会を開催し対応について協議し、全入居者に対して文書で戒告するとともに再発防止の徹底を促した。

## 2か月間の

## 「桐の花」研修を終えて

もえぎ園

グループホームふきのとう

高橋幾恵



2か月間という短い期間でしたが、入居者の皆さんを始め職員の皆さんに温かく受け入れていただき本当にありがとうございました。この場をお借りして感謝申し上げます。

桐の花で2カ月過ごしてみて、建物が平屋建てであることに過ごしやすさを感じました。また、事務室から各居室まで見通しがよいことも安心感がありました。入居者の皆さんが過ごすフロアと居室とが行き来しやすい距離であることも良かったです。床板は無垢材で、素足で過ごしたいと思うほどとても好きでした。また、窓から見える景色が良く、4月から5月にかけては、桜から新緑までの自然の移り変わりを感じることで嬉しかったです。周りの環境も良く、公園がすぐ近くにあり、日の光の暖かさを感じられ、天気の良い

日は日光の力を感じながら過ごすことができました。入居者と職員と可愛がっているペットたちとで作り出す穏やかな雰囲気も良かったです。

桐の花のイベント・行事として、外部のボランティアが民謡を聞かせてくださったり、お寺でのイベントとして「お茶会」「お釈迦様の甘茶の会」などがあり、お寺と併設されていることで、入居者の方へも参加しやすい印象を受けました。

反面、看取りまで行っていることや、年平均年齢が上がっている中でグループホーム本来のあり方として、食事作りなど「入居者と一緒に行く」こととされていることが難しくなっているのではなにかと感じました。桐鈴会の理念の中の「迷惑をかけあえる関係をめざす」の一文が素敵だと感じました。誰かが誰かの力になり、支えられな

# 出向・研修おつかれさまでした!

がら共に生きているという思いを理念の中から感じました。桐の花で学んだことを大切にしながら、一歩ずつ進んで行きたいと思えます。

(萌気会から出向)

## 研修を終えて

(有) 肉の片山

管理栄養士 小林未樹



私は、4月から約2か月間、桐鈴会の3つの施設にて、高齢者の食べやすい食事や、献立作成、厨房での業務を学ぶための研修をさせていただきました。

グループホーム桐の花、工房とんとん、ケアハウス鈴懸でお世話になりましたが、どの施設も温かい方々ばかりで楽しんで研修を行うことができました。

桐の花は、一般的な家庭料理が中心の食事で、そのような食事こそ高齢者の方に喜ばれているように感じました。お年寄りとも身近に接することができたとても貴重な時間でした。とんとんでは、カフェのオープンまで手伝わせていただき、給食だけ

の厨房とは違う雰囲気味わわせていただきました。調理のコツも教えていただき勉強になりました。鈴懸では、献立作成を中心に研修させていただきました。改めて食材の選び方や分量、三食の献立が被らないようにすることの難しさを実感しました。お忙しい中、ありがとうございました。

(石打福祉会から研修)

「肉の片山」の社長小杉さんが数年前にたずねてこられ「うちの食品は美味しいから使ってもらえないか?」と。私は言いました。「桐鈴会は外注はしないのです。食べる人の感想をうかがいながら、それを取り入れて作るようにしています。お宅でも高齢者の施設を創ったらどうですか?」。すると、まあ!短期間で社会福祉法人石打福祉会を立ち上げ、社長が理事長になり、ミニ特養、シヨートステイが9月に開設されることになりました。そのため二人の栄養士さんが、一月ずつ研修に来られることになったのでした。嬉しいことです。(黒岩秩子)

開校3か月、

総合支援学校に想う

南魚沼市立総合支援学校

校長 内山 徹



今年4月、工房とんとんと同じ日に開校した南魚沼市立総合支援学校。私は昨年度まで市教育委員会での開設準備を担当し、現在校長として59名の子どもたちに囲まれ40名の職員の一員として勤務しています。

総合支援学校は、知的な遅れをもつ小学生から高校生までが学ぶ学校です。「地域の子どもは地域で学ぶ」ことを実現し、福祉保健、労働、その他関係機関との連携によって創造的な教育活動を展開し、子どもたちの笑顔が学校中にあふれています。近年増加してきた高等部生の自己実現を図るために、隣接する魚沼サンテイクスクールや市教育委員会・事業所等と連携し、一般就労に向けた教育活動の工夫にも取り組んでいます。

既存の施設設備を改修・増築したことから、いくつかの設計上の制約と不足の施設設備がありします。しかし、視察等で来校された方々の評価は「よく工夫されている」「明るく使いやすそう」と、概ね好評です。さらに、「子どもたちがいきいき活動している」「元気なあいさつが気持ちよい」と続き、「掲示物や手作り教材に、先生方の熱意や意欲が感じられる」との感想までいただきました。子どもたちや職員を自慢したくなるほど嬉しくなります。開校して3か月ほどで、来校者からこのような好評をいただくと、教育は結局「人」なのだ実感させられます。施設設備の不足を職員の創意工夫で補う、と言うより、不足だからこそ豊かなアイディアが生まれる、のかも知れません。

学校中にあふれる子どもたちと職員の笑顔とあいさつ。その中で誰もが可能性のすばらしさに胸を熱くする楽しい時間があります。給食時間、子どもたちが放送で給食紹介をしますが、一人一人が役割をもち、できることをしっかりやり遂げています。自分の名前を言うだけの子、ボタンを押すだけの子、ユーモアいっぱい話す子。回を追うごとに上手になり、放送を終えて教室に戻るときの表情はどの子も光り輝き、一回り大きく見えます。私の好きな学校生活の一コマです。

工房とんとんで聞いた

庭野さんの最優秀賞

工房とんとんボランティア

広田セツ子

庭野正夫さん（グループホームひまわり入居者）の発表を思いがけず、思いがけない場所で聞くことができました。4月21日は庭野さんにとっては、北里学園大学で9月に行われる在宅ケア全国集会のプレ大会があり、体験発表をして、最優秀賞を取った記念すべき日でした。その日、工房とんとんは開設2日目の日曜日。てんやわんやの2日間が終わり、職員、ボランティアが食堂に集まり一息入れようとしていた時でした。

ひまわりの職員の星野真由美さんが庭野さんの最優秀賞の一報を管理者の星野さんに一刻も早く知らせたいと、庭野さん

と一緒にとんとんに立ち寄ってくれたのです。発表の内容は凛々86号に載っていて、その時の様子や庭野さんの人となりは管理者の星野さんが詳しく述べられています。私は庭野さんにお目にかかったことはありませんでしたが、当事者の発表がきく人の胸を打って最優秀賞をとったと聞き、ここでも聞かせてほしいとお願いしたら、「原稿が車の中にある」といって星野真由美さんが原稿の用意をしてくれて、庭野さんが原稿を読んでくださったのでした。苦労が実になってついに幸福を手にした王子様のお話をきいているようでした。原稿を読む王子様も、聞いていた職員も涙を流しました。グループホームひまわりが庭野さんの安住の地であるとしたら、それは、そこで働く職員の喜びであると同時に、社会福祉法人として桐鈴会が力をつけてきたことの証しです。これこそ桐鈴会にかかわる者たちの喜びだと思えました。庭野さん、いいお話を聞かせていただき、ありがとうございます。ますますご活躍ください。

## 入居者からの投稿

「平和への願いを込めて」①



ケアハウス  
鈴懸入居者  
山岸トヨ



歳のときでした。

数年後、祖父は警察官を辞め新しく造られた羅南神社の社司(神官)として神社をお守りすることとなりました。

父は、その後日本に一時帰国し学業を積み、再度朝鮮に渡り教員として働き、26歳のときに長岡から母が嫁ぎ、姉そして私が生まれたのです。

### ☆異国での生活

その後父は、教職を離れ会寧邑に造られた神社を預かり神官として神社をお守りしていました。

会寧の町は、軍隊町で、歩兵連隊、工兵大隊、飛行連隊などが有り一般住民より、兵隊さんの数が多く、休日には町中兵隊さんが溢れていました。

私の下に3人の妹が生まれ、5人姉妹と両親の7人家族が、此の町で衣食住、なに不自由なく暮らしていました。

異国での平和な家族の生活も、昭和12年支那事変、昭和16年第二次世界大戦の勃発と、忌まわしい戦争の渦の中に徐々に巻き込まれていきました。

第二次世界大戦が始まり暫く

すると、一家の大黒柱である父のところにも召集令状が届き、出征して行きました。

父は、入隊後間もなく南方に移送され、当時のマレー半島、ビルマ方面で戦ったそうです。

日本では、連日のように勝利を伝え国民は提灯行列などで賑やかに祝ったものでした。

戦争も長引きそして終戦、忘れもしません。昭和20年8月13日、終戦二日前の午後でした。

突然町中に軍隊の広報車の音が響き渡り、「ロシアの軍隊が攻めてくるから日本人は直ちに南下避難せよ」と広報して回ったのです。ここから、私たち母と、5人の姉妹の人生が大きく大きく転換したのです。

### ☆南へ南へとひたすら歩く

突然の命令で、状況のわからぬ中で、とにかく普段から用意していた非常食や非常持ち出しを5人の子どものリュックサックに、母の大きなリュックには、野宿に必要な物や飯盒、着替えの衣類と手元に有った現金(日系の金融機関は閉鎖され預金は下ろせなくなつた)を詰めて住み慣れた我が家を後にしました。

母36歳。14歳を頭に下は5歳までの娘を5人連れて、母子の死の逃避行が始まったのです。

最初の頃は、町内ごとに班を作りまとまって歩いていましたが、数日も歩くと、私たち、子ども連れは次第に班からはずれ、終戦を知ったのは、8月18日頃でした。

### ☆祖国をめざって

もう二度と家に帰る事はできないと、ここで母は覚悟したようです。

北朝鮮の夏は、昼間は焼けるように暑いけれど、夜は寒いくらいになるので野宿用具は確保してあとは全部山道の途中で捨ててしまいました。

少しでも身軽にして、何とか日本人の集団に追いついて行かなければと考えたのでしよう。

昼夜を問わず山道を歩き、少しでも近道をと、山間の鉄橋の上を渡りました。踏み外せば「死」。目もくらみ、足もすくむ、余りの恐ろしさで渡った記憶は残っていますが、どうやって渡ったのか思い出せません。ロシア兵に見つかからないように少しでも南へと歩きました。(続く)

### ☆生まれ故郷

私の生まれ故郷は、朝鮮半島の北端にある日本海に面した邑(町)羅南です。

今は、38度線で分断され北と南に分かれていますので北朝鮮の領域となっております。

その町「朝鮮咸鏡北道清津府羅南邑生駒町」の羅南神社々務所で昭和八年の夏、産声をあげました。

### ☆なぜいつか私は生まれたのか

当時の国策で、満蒙開拓、朝鮮半島への移民が推奨された時代でしたので神官である私の祖父(出身は当時の五十沢村宮)が朝鮮半島に神社を拓くと言う大志を抱き渡ろうとしたのですが、神官では渡航許可が下りず、警察官として渡つたのです。それは大正9年、祖父39歳、父16

「鈴懸」・「桐の花」  
家族会が開かれました

七月六日、ケアハウス鈴懸とグループホーム桐の花で家族会と「成年後見制度」についての講習会を行いました。

家族会はそれぞれが、すずかフェアableで行いました。ご家族のみなさんに、新メニューのあんみつを堪能いただき、近況などを報告させていただきました。

講習会は入居者も含め五十名弱が参加してください、桐鈴会の顧問弁護士の渡邊真一郎氏より説明いただきました。「成年後見制度」は渡邊弁護士も「難しく、理解するのが大変だった。」と話していましたが、こんな制度があつて、わからない時には相談できる弁護士が桐鈴会にはついていて、ということ、皆様に伝わったのではないかと思います。

(ケアハウス鈴懸相談員

小林裕子)



退職



おはようヘルプにて、登録ヘルパーとして6年間勤めていただきました高野すえ子さんが、5月末日に退職されました。

ご本人に、「ぜひ退職の挨拶を」とお願いしたのですが、控えめな高野さんらしく辞退されました。

高野さんは相手の心の機微に敏感で、細やかな気配りをされる方でした。利用者様の良いところを引き出すように、そつと心に寄り添うようなサービスをされ、思わず感動したことも少なくありません。

そして、とても仲間思いの方で、ヘルパー一人ひとりのことをいつも気にかけてくださいました。「あなたなら出来るよ」と背中を押してくれた高野さんの言葉にいつも励まされています。高野さん、6年間本当にお疲れさまでした。

(鈴懸おはようヘルプ

介護職員 上村久美子)

紹介します！

ボランティアで国際交流！

工房とんとは火曜から金曜日の毎日、アメリカ人のダニエルさんがボランティアに来ています。ダニエルさんは片言の日本語が話せるだけ、職員も片言の英語が話せるだけです、身振り手振り、時にはスマフォや辞書を片手に、コミュニケーションの花が咲いています。主に洗い場を担当してもらっていますが、手際の良さにはびっくりします。ダニエルさんの就職が決まるまでの間ですが、お互いに国際交流の橋渡しができる良い機会となっております。

(星野淳子)

編集後記



アジサイが彩を増し、雨を恋しがっているにも関わらず、灼熱の太陽が顔を覗かせたり時折激しい雨の繰り返し。カタツムリも逃げ場所を必死に探しているかもしれません。

さて、前回の編集後記で「工房とんが小さな芽が蕾となり、開花ですね！」と応援の言葉を頂きました。その工房とんとの実情は…。満開です！

右も左もわからないながらも、利用者さんや職員一同力を合わせ、笑顔や笑い声が響く毎日を送っています。今までは職員だけで過ごしていたカフェやパン工房にも利用者さんがデビューをして彩を添えています。

そして、まわりのみなさまのご厚意に包まれて、一步一步成長させていただいている利用者の方々と工房とん職員です。これからの工房とんとん&すずかフェアableをぜひ見守ってください！

もちろん、叱咤激励もお待ちしております！

(若井美由紀)

すずかフェアable 耳より情報

その1 とっても美味しいと、評判の『ジェラート工房ヤミー』さんのアイスクリームを販売しています

その2 有機無農薬野菜を販売しています。日によって野菜の種類は変わります。

いずれもとんとのパンと一緒にどうぞ！

# 【平成24年度財務状況報告】

社会福祉法人桐鈴會

資金収支計算書 (単位千円)  
(平成25年3月31日現在)

事業活動収支計算書 (単位千円)  
(平成25年3月31日現在)

		勘定科目		
經常活動による収支	収入	介護保険収入	108,895	
		自立支援費等収入	7,081	
		利用料収入	2,550	
		事業収入	1,526	
		經常経費補助金収入	26,715	
		寄附金収入	277	
		雑収入	1,619	
		受取利息配当金収入	15	
		経理区分間繰入金収入	8,114	
			經常収入計	156,793
支出	支出	人件費支出	89,029	
		事務費支出	27,762	
		事業費支出	27,062	
		借入金利息支出	632	
		経理区分間繰入金支出	8,114	
			經常支出計	152,599
	經常活動資金収支差額	4,194		
施設整備による収入	収入	施設整備等補助金収入	112,781	
		施設整備等寄附金収入	5,780	
			施設整備等収入計	118,561
		支出	固定資産取得支出	160,231
施設整備等支出計	160,231			
	施設整備等資金収支差額	-41,670		
財務活動収支	収入	借入金収入	27,100	
			財務収入計	27,100
		支出	借入金元金償還金支出	3,672
	投資有価証券取得支出		10	
			財務支出計	3,682
		財務活動資金収支差額	23,418	
	当期資金収支差額合計	-14,058		
	前期末支払資金残高	68,224		
	当期末支払資金残高	54,166		

		勘定科目		
事業活動収支の部	収入	介護保険収入	108,895	
		自立支援費等収入	7,081	
		利用料収入	2,550	
		事業収入	1,526	
		經常経費補助金収入	26,715	
		寄附金収入	277	
		雑収入	1,619	
		国庫補助金等特別積立金取崩額	11,217	
			事業活動収入計	159,881
		支出	支出	人件費支出
事務費支出	27,762			
事業費支出	27,062			
減価償却費	22,200			
	事業活動支出計	166,053		
	事業活動収支差額	-6,172		
事業活動外収支の部	収入	受取利息配当金収入	15	
		経理区分間繰入金収入	8,114	
			事業活動外収入計	8,129
		支出	借入金利息支出	632
経理区分間繰入金支出	8,114			
	事業活動外支出計	8,746		
	事業活動外収支差額	-617		
	經常収支差額	-6,789		
特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入	112,781	
		施設整備等寄附金収入	5,780	
			特別収入計	118,561
	支出	基本金組入額	4,340	
		国庫補助金等特別積立金積立額	112,781	
	特別支出計	117,121		
	特別収支差額	1,440		
	当期活動収支差額	-5,349		
繰越活動収支差額の部	繰越活動収支差額	前期繰越活動収支差額	113,078	
		当期末繰越活動収支差額	107,729	
	次期繰越活動収支差額	106,912		

二十四年度決算書類の詳細はケアハウス鈴懸・事務所に常備してあります

貸借対照表  
(平成25年3月31日現在)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	185,651,989	78,608,575	107,043,414	流動負債	131,486,254	10,384,914	121,101,340
現金預金	52,812,376	58,786,899	-5,974,523	短期運営資金借入金	70,000,000	0	70,000,000
未収金	132,819,753	19,797,346	113,022,407	未払金	55,785,500	4,074,568	51,710,932
貯蔵品	19,860	24,330	-4,470	預り金	5,700,754	6,310,346	-609,592
固定資産	515,549,852	377,508,750	138,041,102	固定負債	70,124,000	46,696,000	23,428,000
基本財産	338,731,439	324,844,718	13,886,721	設備資金借入金	52,124,000	28,696,000	23,428,000
建物	262,721,439	203,757,091	58,964,348	長期運営資金借入金	18,000,000	18,000,000	0
建物付属設備	0	45,077,627	-45,077,627	負債の部合計	201,610,254	57,080,914	144,529,340
土地	76,010,000	76,010,000	0				
純資産の部				純資産の部			
その他固定資産	176,818,413	52,664,032	124,154,381	基本金	140,959,500	136,619,500	4,340,000
建物	102,915,545	5,139,572	97,775,973	基本金	140,959,500	136,619,500	4,340,000
建物附属設備	0	734,657	-734,657	国庫補助金等特別積立金	239,903,311	138,339,087	101,564,224
構築物	13,930,361	4,640,716	9,289,645	その他の積立金	11,000,000	11,000,000	0
機械及び装置	5,861,523	0	5,861,523	人件費積立金	2,000,000	2,000,000	0
車両運搬具	815,111	1,661,961	-846,850	修繕積立金	9,000,000	9,000,000	0
器具及び備品	16,157,473	6,605,486	9,551,987	管理費収入積立金	0	0	0
土地	25,507,760	22,765,000	2,742,760	次期繰越活動収支差額	107,728,776	113,077,824	-5,349,048
権利	597,500	93,500	504,000	次期繰越活動収支差額	107,728,776	113,077,824	-5,349,048
投資有価証券	10,000	0	10,000	(うち当期活動収支差額)	-5,349,048	-3,333,962	-2,015,086
人件費積立預金	2,000,000	2,000,000	0				
修繕費積立預金	9,000,000	9,000,000	0	純資産の部合計	499,591,587	399,036,411	100,555,176
その他の固定資産	23,140	23,140	0	負債及び純資産の部合計	701,201,841	456,117,325	245,084,516
資産の部合計	701,201,841	456,117,325	245,084,516				

(脚注) 1. 減価償却累計額  
基本財産 221,555,221 円  
その他固定資産 41,217,963 円



# 桐 鈴 会 夏 祭 の

ケアハウス鈴懸  
グループホーム桐の花  
グループホームひまわり  
工房とんとん



とき **8月2日(金)**  
じかん **18:00~20:30**  
ばしょ **ケアハウス鈴懸駐車場(雨天中止)**

出し物 踊り(安来節、地元盆踊り)、カラオケ歌合戦など  
屋台店 やきそば、冷うどん、からあげ、かき氷、わたあめ、おにぎり、  
生ビール、ソフトドリンク、とんとんのパン(パンは現金での販売)  
ヨーヨー&スーパーボールすくい

☆屋台はチケット制です(100円券、50円券)

H25.8.2  
ソフトドリンク  
無料券  
1枚につき1杯